



欧州ビジネス協会
在日欧州(連合)商工会議所

自動車部品・ アフターマーケット

主要な問題および提案

A dense, top-down view of a wide variety of automotive parts scattered across a white background. The parts include gaskets, belts, filters, suspension components, and other mechanical parts, all rendered in a realistic style with shadows and highlights. The parts are arranged in a somewhat chaotic but organized manner, filling the entire frame.

アフターマーケット

アフターマーケット

年次現状報告：新たな問題

- ❑ 日本の自動車メーカーに部品を供給している自動車部品メーカーは、目下、日本のアフターマーケットで自社製品を販売できる場所が制限されている。
- ❑ その結果、多くの場合、日本の消費者は、高品質の純正スペア部品を特定の自動車メーカーと結び付いたディーラーから買うしかない。
- ❑ 奇妙なことに、そうした制限は、コピー製品や非純正部品を製造する部品メーカーには適用されない。
- ❑ これは結果的に、より低品質かつより安全でない製品を特徴とする独立系アフターマーケットへとつながる。

アフターマーケット

提案

- ❑ 日本は、EUの一括適用免除 (block exemption) 規則に似た、自動車部品メーカーがアフターマーケットで販売できるようにする法的枠組みを設けるべきである。これは、高品質の純正自動車部品調達を望む日本の消費者にとっての選択肢を拡大するだろう。
- ❑ 部品供給業者は、自動車メーカーに供給する商品に、自社独自の商標やロゴ、および自社独自の部品番号を貼付することを認められるべきである。



タイヤ



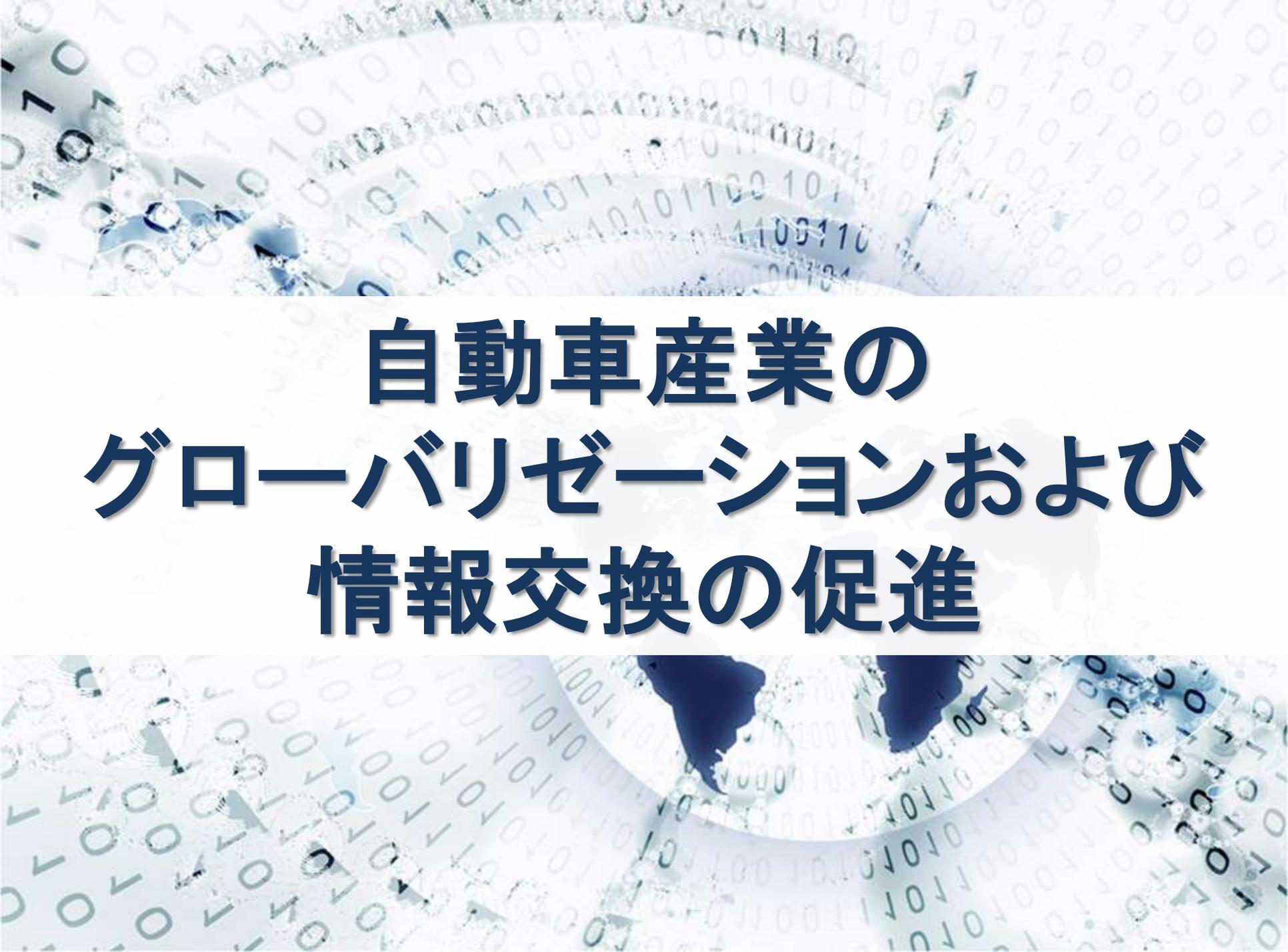
タイヤ

年次現状報告：進展

- ❑ EBCは、新車用（標準装着）に関して、2023年を目処にUN/ECE規制 R117-02を日本に全面的に導入するという国交省のとった措置を高く評価した。
- ❑ その導入は、は段階的に完了することになっている。
- ❑ しかしながら、外国メーカーは依然、この分野における市販タイヤ販売チャネルへの参入面で困難に直面していることを指摘しておきたい。

提案

- ❑ 新車用だけでなく、市販市場に関しても、規制の整合化をさらに加速させる。
- ❑ 排他的流通を制限し、細分化された流通市場への参入を促進する。



自動車産業の グローバル化および 情報交換の促進

自動車産業のグローバル化 および情報交換の促進

年次現状報告: 進展

- ❑ EBCは、グローバル化が革新的な欧州企業にもたらす、新製品開発面や技術的な専門知識共有面で日本の自動車メーカーとの関係を強化する機会を歓迎する。
- ❑ 日本の自動車メーカーは、事業を発展させ、国内外の競争圧力に対応するために海外で提携を結ぶことが多くなっている。
- ❑ とはいえ、欧州の自動車部品/システムメーカーは、欧州の技術的な専門知識を日本の自動車メーカーに売り込むにあたり、なおも多くの難問に直面している。
- ❑ 国内外双方の企業にとって、自動車部品分野のグローバル化によりよく対応するため、日本が規制的枠組みを整合化することが肝要である。

自動車産業のグローバル化 および情報交換の促進

年次現状報告：進展

- 1995年、日欧企業間の情報交換の促進を目的として、欧州自動車部品供給業者協会と日本の自動車メーカーとの直接の会議が設けられた。
- これらの会議は、製品、プラットフォーム、世界戦略など、自動車部品業界に影響を及ぼす重大な事柄に関連した、両者が共に関心を抱いている問題について討議するための、極めて効果的な場であることが実証されている。
- EBCはまた、2018年5月に横浜で開催される予定の自動車技術会（JSAE）の人とくるまのテクノロジー展と春季大会には相当の潜在的価値があるものと理解している。

自動車産業のグローバル化 および情報交換の促進

提案

- 部品やシステムを調達する際に、自動車生産の技術、取引およびロジスティック面を重視するよう、また、系列会社への過度の依存を避けるよう、日本の自動車業界に促す。グローバルな調達の増大とシングルプラットフォーム開発の一層の重視は、日本の業界の費用効率性を向上させることであろう。
- 日本市場向けの再試験の必要性をなくすため、欧州の認定機関による外国の試験結果を承認する。
- 欧州自動車部品供給業者と日本の自動車業界の主要代表者間の直接の会議は相互理解を深めることにつながってきたため、こうした会議を継続する。将来は会議の範囲が拡大されて、日本でも開催されるよう併せて提案する